

※ 本リリースは国土交通記者会・交通運輸記者会に配布しております。

平成 28 年 1 月 19 日

理事長 松山 良一

訪日米国人数が 100 万人を突破、米国で感謝キャンペーンを実施

2015 年の米国からの訪日外客数は対前年比 15.9%増の 103 万人となり、初めて 100 万人を突破しました。東アジア以外の国・地域からの訪日 100 万人達成は米国が初めてとなります。

米国の大手旅行雑誌「Travel + Leisure(トラベル・アンド・レジャー)」誌や「National Geographic Traveler(ナショナル・ジオグラフィック・トラベラー)」誌等では、「今、訪れるべき旅行地」として、続々と日本が紹介されており、訪日旅行への注目度が高まっていることが伺えます。円安、燃油サーチャージの引き下げに加えて、こうした米国における旅行先としての日本の認知度の向上も、米国人の訪日の増加につながっています。

昨年 9 月にニューヨークで開催した JNTO 主催の訪日観光セミナーでは、安倍総理自らが、日本各地の魅力をかたく発信し、米国からのより一層の訪日呼びかけにいただきました。こうした訪日プロモーションの積み重ねが、日本の認知度向上や訪日需要の拡大を後押し、訪日 100 万人の達成につながりました。

日本政府観光局(JNTO)は、訪日米国人 100 万人達成を記念し、日本航空株式会社、全日本空輸株式会社の協力を得て、「訪日 100 万人達成！感謝キャンペーン」を行い、米国からの更なる訪日を促進します。

第 1 弾として、2 月に日本航空の 100 万人達成記念特別割引運賃とタイアップした訪日促進キャンペーンを、第 2 弾として、3 月には全日空提供の米国—日本のペア往復航空券 5 組が当たる懸賞キャンペーンを、実施することを予定しています。



【キャンペーンロゴ】

本件に関するお問合せ先：

海外プロモーション部 伊与田・石崎
03-3216-1902



<参考>

米国の大手旅行雑誌等における最近の日本の露出例

■National Geographic Traveler [「Best of Trips 2016」](#)

(ナショナル・ジオグラフィック・トラベラー「2016年に訪れるべき旅行先」)

20の国・都市・地域が選定される中、「北海道」が選出され、主にスキーの魅力が紹介されました。

■CNN [「10 Amazing New Luxury Journeys to Experience in 2016」](#)

(シー・エヌ・エヌ「2016年に体験すべきラグジュアリーな新たな旅行先10」)

10の国・都市・地域が選定される中、「九州」が選出されました。

■Lonely Planet [Best in Travel 2016 - Top 10 Country](#)

(ロンリー・プラネット「2016年に訪れるべき旅行先-国部門」)

「日本」が2位として、紹介されました。

■Travel + Leisure [「World's best City」](#)

(トラベル・アンド・レジャー「世界の訪れるべき旅行先-都市部門」)

読者投票により、「京都」が2年連続で1位を獲得しました。

[「Best places to Travel in 2016」](#) (2016年に訪れるべき旅行先)

50の国・都市・地域が選定される中、「三重」が選出されました。

■旅行業界誌 Recommend Magazine [「Best Selling Destination -Asia-」](#)

(リコmend・マガジン「最もオススメな旅行先-アジア部門」)

読者である旅行会社からの投票において、アジア部門で「日本」が選出されました。

以上

